

令和5年産 コメ通信

第10号（令和5年9月1日）

【発行】

北秋田地域振興局農林部農業振興普及課
（電話：0186-62-1835）

刈取適期が早まっています！刈り遅れに注意を！

1 気象経過と生育状況

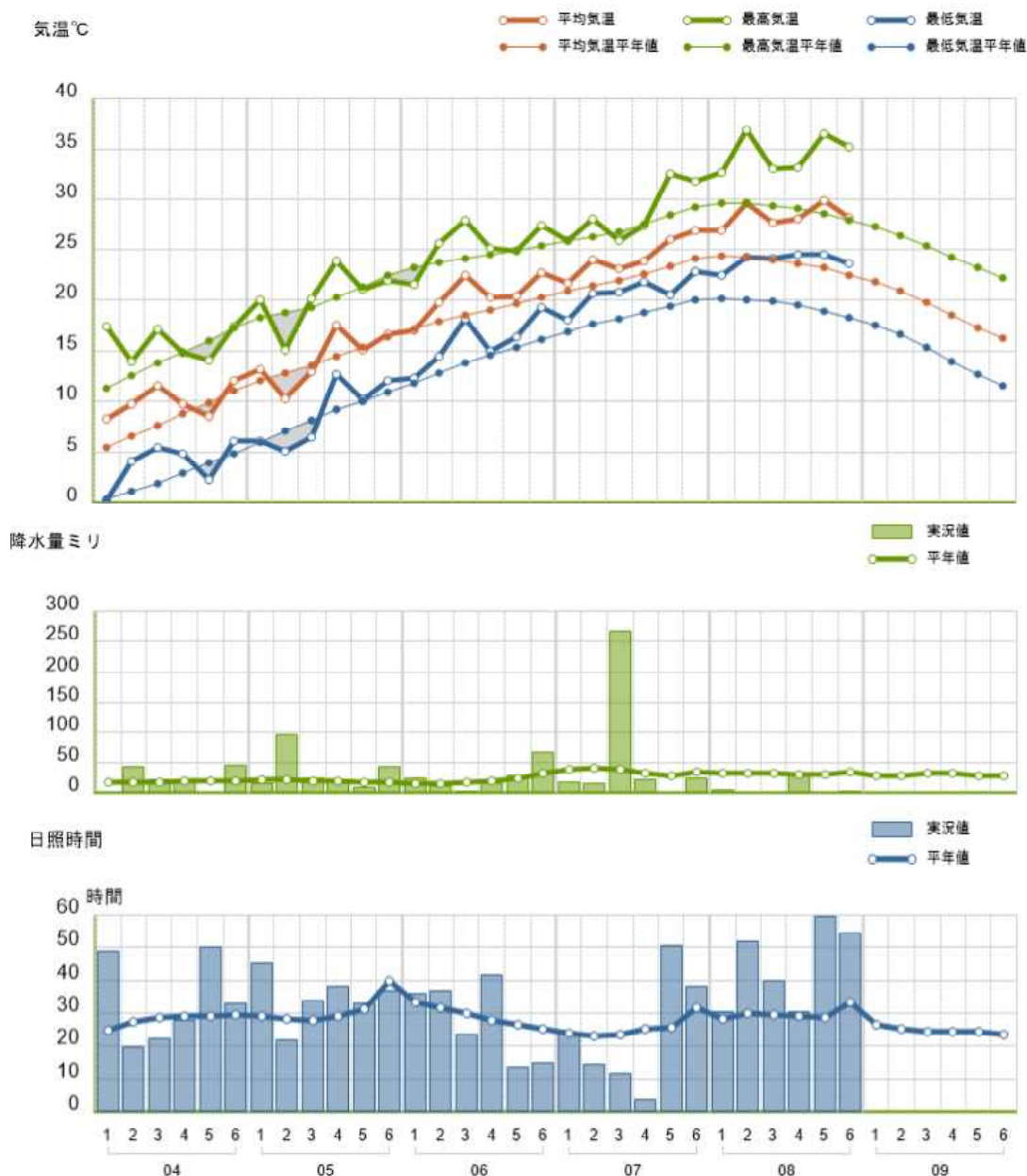


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

- 生育期間中の気温はかなり高温傾向で推移したため、生育がかなり早まりました。
- 日照時間は多く推移しました。降水量は7月3半旬に大雨があったものの、全体としては少なく推移しました。
- 仙台管区気象台の1か月予報（8月31日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並と予想されています。

2 刈り取り適期の判断

○刈り取り適期は個々のほ場条件で異なります。図2を参考に出穂後の日数及び積算気温で刈り取り適期を予測するとともに、籾や枝梗の黄化程度などを観察して、総合的に判断します。

○刈り遅れのないよう計画的に作業を進めましょう。出穂後の積算気温が、早生品種で1,100℃、中生品種で1,200℃を越えると、胴割れ米が急増しますので注意してください。

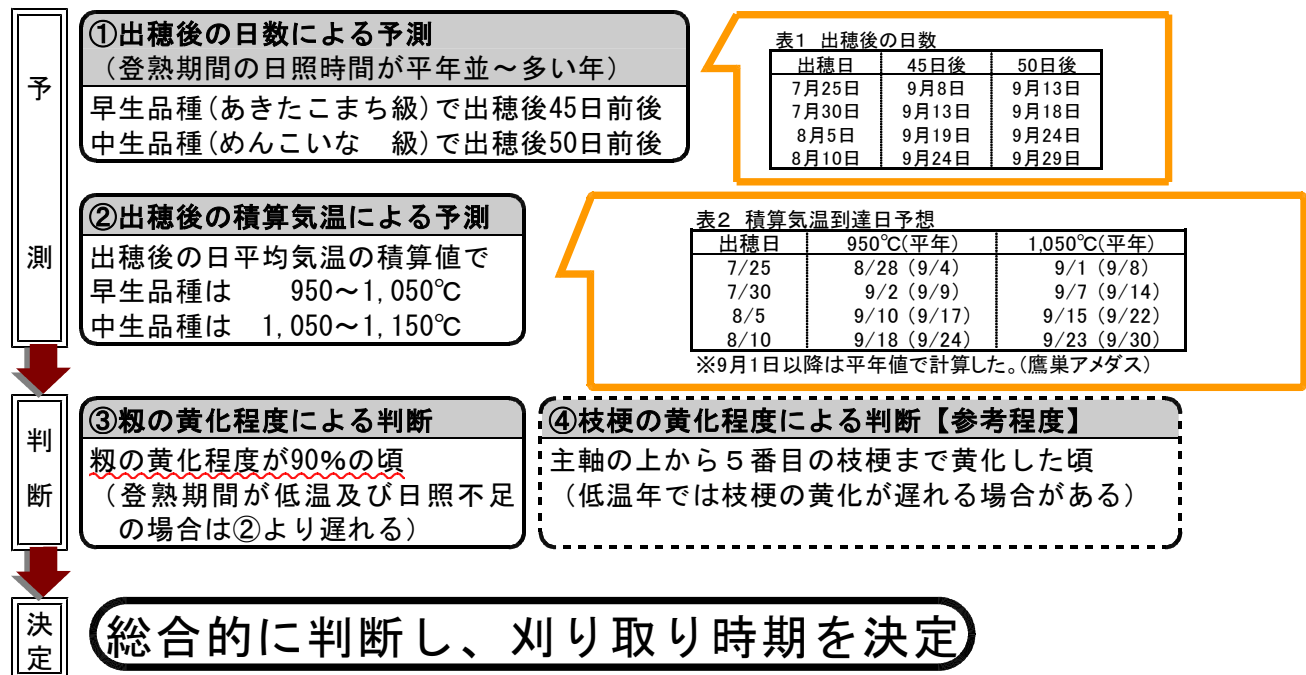


図2 刈り取り適期の予測及び判断目安

3 収穫作業

収穫時の籾水分は25%以下が望ましく、収穫時刻は稲体が乾燥している午前10時頃から午後5時頃とします。また泥の汚損粒が発生しないよう注意して収穫します。

<秋の農作業安全運動 9月10日～10月20日>

- 点検・調整時は必ずエンジンを停止してください。
- コンバインによる収穫作業は計画的に行い、長時間や夜間の作業を避けてください。
- 道路走行時は反射材を活用し、安全を確保してください。
- 作業前後は機械や安全装備の点検を励行してください。
- 軽トラック運転時のシートベルト着用、一時停止の遵守を徹底してください。
- トラクタに安全キャブ・安全フレームを装備し、シートベルトの着用を徹底してください。

<稲わら焼き禁止期間 10月1日～11月10日>

周辺に影響が出やすいこの期間は、全面的に稲わら焼き(籾殻含む)が禁止されています。燃焼せずに、土壌中にすき込む等、有効活用に努めましょう。

問い合わせはJ Aまたは農業振興普及課まで ～次回発行は12月中旬頃～